

SWAN NEWS LETTER

平成15年度 日本白鳥の会 第28回研修会・第32回総会

「茨城県潮来市水原 北浦大会」

開催日：平成16年2月14日～15日

参加者：36名

日本白鳥の会の茨城県潮来市での研修会・総会が開催されましたのでご報告します。

今回の研修会は、北浦の西岸にある簡保の宿「潮来」で行われました。北浦と対岸に鹿島サッカースタジアムを見るなかなかの眺めのいい宿でした。

初日平成16年2月14日は、午前中は地元向け研修会として、

学術講演会（一般市民向け講演会・自由参加）

・北浦のコブハクチョウの故郷 菊池 昶史(白鳥の会 理事)

・日本のハクチョウとその生態 藤巻 裕蔵(白鳥の会 会長)

講演がありました。

午後の白鳥の会研修会では、以下の発表がありました。

高速道路上でのロードキルについて
角田 分 (山形県)

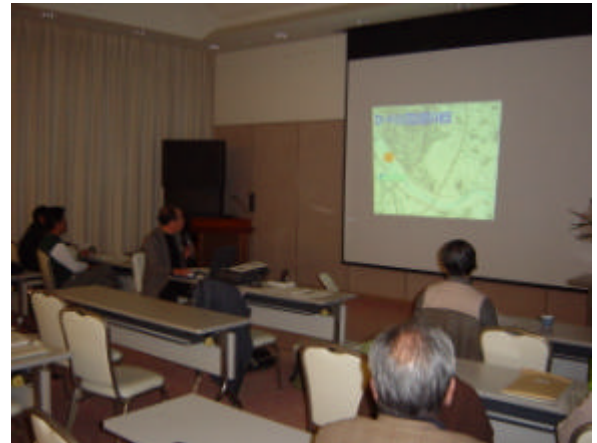
茨城県のコブハクチョウとコクチョウの現状 菊池昶史(茨城県)

コハクチョウの嘴に空き缶が挟まった白鳥 会田 仁(長野県)

何が問題！！外来種と生態系
神谷 要(鳥取県)

Web データで読む日本の白鳥類の現状分析 荒尾稔(東京都)

秋田でのハクチョウのロードキルは、透明な防風壁が、鳥を路上に閉じ込めて交通事故が起こるといった衝撃的内容でした。被害個体も年間10羽程度とかなり深刻です。



研修会の様子 簡保の宿「潮来」

また、北浦のコブハクチョウは、標識の調査によって北海道ウトナイ湖より飛来していることが分かっているほか、北浦でも繁殖する個体があり、11羽の雛をつれた親子も観察されているそうでした。

2月15日(日)(二日目)の現地観察では、潮来市水原(みずはら)北浦湖岸。宿から徒歩10分のところにありました。ここは、離岸堤(粗朶)



コクチョウと参加者 (水戸偕楽園千波湖)

を設けて、湖底の砂を戻した自然回復護岸でした。きれいにヨシ帯が回復している珍しい(?) 場所で、まずこれに驚きました。ここでは、オオハクチョウ10羽、コブハクチョウ20羽、オオホシハジロ 1、 1など、目の前で観察できました。餌付けされていました。ウトナイ湖で標識されたコブハクチョウが飛来していました。

午後は、茨城県を北上して水戸市でハクチョウの飛来地を観察しました。

水戸市大塚池での観察では、オオハクチョウ200羽、コハクチョウ1羽、コクチョウ10羽(雛3羽を含む)などを観察しました。

偕楽園にある千波湖では、オオハクチョウ10羽、コブハクチョウ20羽、コクチョウ40羽などを観察しました。コクチョウの一羽が、抱卵中でした。水戸市のビル郡をバックに倒立採餌するオオハクチョウにはちょっと驚きました。

15:15 水戸駅前解散

平成16年度総会 予定 告知

次期開催地：長野県南安雲郡豊科町

開催予定日：平成16年2月ごろ

次々期開催地：(平成17年度開催予定)

青森県平内町 唯一の特別天然記念物の白鳥飛来地。

高病原性鳥インフルエンザに関して、

鳥インフルエンザについて、各地で不安が広がっているようです。鶏から人には直接感染しません。ただ、鶏への感染防止のために、野鳥の糞を踏んだ靴は、靴底をきれいに洗いましょう。

「野鳥が死んでいるのをみつけた場合」の対応方法を含む政府からの通達がだされています。基本的に大量死が起こっていないのであれば問題はありません。当該の通達は同封いたします。また、農水省のウェブサイトに掲載されて

いますのでお知らせします。必要に応じてご参照ください。

農林水産省プレスリリース 平成16年3月9日

高病原性鳥インフルエンザに関する周知徹底について

http://www.maff.go.jp/www/press/cont/20040309press_6.htm

その他の参考となるサイト

日本野鳥の会 ホームページ

<http://www.wbsj.org/index2.html>

国立感染症研究所感染情報センターのホームページ

<http://ibsc.nih.go.jp/others/topics/flu/to riinf.html>

会誌「日本の白鳥」について

会誌日本の白鳥28の原稿締め切りは、9月末日を予定しています。白鳥に関する地域の飛来情報など様々な情報をお待ちしております。

配本は、12月ごろを予定しています。

「日本の白鳥」のバックナンバーについて

「日本の白鳥」のバックナンバーが手に入ります。ご希望の方は、浜頓別事務局の小西までお尋ねください。【日本の白鳥バックナンバー】9,11,12,15,16,18,19~21 合併号、22、23・24 合併号,25,26、27号、ロシア・オオハクチョウ調査記録各2000円(19~21合併号は3000円、ロシア・オオハクチョウ調査記録は1000円)

ホームページについて

ハクチョウの会のホームページができました。バックナンバーのなくなった会誌の内容も順次掲載していきますのでご利用ください。

<http://jsawn.jp/>

飛来地情報

コハクチョウ、猪苗代湖で営巣

猪苗代町の猪苗代湖北岸で4月17日、羽をけがして飛べなくなったコハクチョウのつがいの巣が確認されています。コハクチョウの営巣確認は福島県内では初めて、全国的にも極めて珍しい例です。

発見したのは、本会理事の「猪苗代湖の自然を守る会」代表の鬼多見賢さん(57)で、コハクチョウの巣は、岸から二百数十メートルほど離れた小島にあり、大きさは約50センチ四方。ヨシなど近くに生えている植物を集めて作られている。

すでに猪苗代湖の白鳥はほとんど北に向けて飛び立っており、現在、けがなどで北に帰れない20羽ほどが残っています。数年前から湖にすみつく白鳥同士がつがいになって営巣しているようにした。

現在営巣している雌とみられるコハクチョウは左羽にけがをしており、雄も飛ぶことができない。2羽とも近くの水草などを餌にしている。

鬼多見氏は「岸から離れた小島にいるので犬などに襲われる心配は少ない。産卵の時期に入るので、温かく見守ってほしい」と呼び掛けています。

国内ではオオハクチョウの営巣は数例確認されているが、コハクチョウは初めてではないかとされています。

<http://www.fukushima-minpo.co.jp/news/kennai/20040418/kennai-20040418095220.html> (福島日報ホームページ)

米子水鳥公園でコハクチョウに首輪標識

鳥取県にある米子水鳥公園で、2004年3月22日首輪標識が行われました。3羽のコハクチョウに標識が行われ、緑の142Y~144Yがつけられました。すでに、山形県鶴岡市で、4月10日に143Yが確認されています。ただ、すでに首輪が脱落しており、両足の足輪だ

けとなっています。次のシーズンでは、ハクチョウたちの足元に注目をお願いします。

観察された方は、山階鳥類研究所もしくは、日本白鳥の会事務局へご連絡ください。

【入会】

北海道 根津 京子さん
青森県 蛭名 幸政さん
松林 拓大さん
後藤 秀次郎さん
岩手県 村瀬 美江さん
宮城県 嶋田 哲郎
滋賀県 草津湖岸コハクを愛する会
(理事 松村勝さん)
大川 節夫さん
滋賀県 肥田 嘉昭さん

【退会】

北海道 野口 順子さん
野付中学校
田尾 絵美さん
岩手県 舟越 千秋さん
吉里 章さん
宮城県 佐々木幸一さん
白石川白鳥愛護会

発行:日本白鳥の会

・浜頓別事務局浜頓別事務局:

〒098-5739

北海道浜頓別町クッチャロ湖畔

浜頓別クッチャロ湖水鳥観察館内

TEL/Fax 01643-2-2534

・米子事務局:〒683-0855

鳥取県米子市彦名新田 665

米子水鳥公園内

TEL 0859-24-6139

FAX 0859-24-6140

発行人:会長 藤巻 裕蔵